

第10回(2019年)「エコとわざ」コンクール 学会賞の贈呈について(ご報告)

2019年12月7日(土)、エコ・ファースト推進協議会主催、環境省後援、全国小中学校環境教育研究会協力、日本ことわざ文化学会審査・監修による「エコとわざ」コンクールは東京ビックサイトで開催されました。日本ことわざ文化学会賞は本田晴菜さんが受賞されました。



第10回[エコとわざ]コンクール受賞者一同の記念撮影(前列中央の右から4番目：環境省大臣官房上田康治審議官)



日本ことわざ文化学会賞

「エコのこえ 子どもがつたえ
大人がかわる」

学会賞を受賞した本田晴菜さん
(精華町立東光小学校3年)と森洋子(同学会理事)

本田晴菜さんのメッセージ

夏休みの家族りょこうで食事をしたとき、わたしが「かんきょうのためにプラスチックのストローを使わない」とお母さんにいったところ、お母さんもさんせいしてくれて、ストローを使いませんでした。子どものこえが大人に伝わったのがうれしくて、エコとわざを思いつきました。「エコのこえ」の部分が回文になったのも気にいっています。

受賞式での森理事の総評(要旨)

1. 本田晴菜さんの作品評価

「エコことわざ」コンクールは今年で10年目を迎えます。第一回は小学校、中学校の生徒さんの応募作品を合わせ、約500点でした。最も多かった年には1500点以上の応募があり、関係者一同、充実感を抱きながらも審査に予想以上に時間を要したことを懐かしく思い出します。

今回の応募作品は小学校、中学校の生徒さんを合わせ、約500点でした。しかし開始当初に比べると、現在の生徒さんのエコ意識はひじょうに高く、「エコとわざ」の内容にも、使命感や危機感があふれています。子どもたちは近年の想像を絶する超大型台風や河川を決壊する大雨などの自然災害に、地球温暖化による人災なのではないか、と危惧しています。

学会賞を受賞した本田晴菜（はるな）さんの作品

エコのこえ 子どもがつたえ 大人がかわる

はとくに、胸を打たれました。現代の子どもがエコな生活とは何かを考え、実行し、大人たちのお手本になりたい、という行動宣言だと感じました。まさに「負うた子に教えられ浅瀬を渡る」ということわざを連想します。

このようにお話をすると、スウェーデンの16歳の少女グレタ・トゥーンベリさんの勇気ある行動が思い出されます。グレタさんは2019年9月、ニューヨークで開催された国連気候行動サミットで「よくもそんなことを！」と叫びながら、温暖化対策のアクションを強く要望しました。

日本では、「エコとわざ」を通じ、毎年、数百人の子供たちが環境問題を考え、

改善への提言や実現に向けた努力を続け、大人の意識と行動を変えようとしていることを、世界の人々に知っていただきたいと思っています。

2. 特筆すべき受賞作品

毎年審査をして感銘を受けるのは、とくに小学校低学年の鋭い観察です。

○環境大臣賞 大垣市立西小学校1年牛田千絢さん

さかなさんも たべたくないよ うみのごみ

作者は優しい心で、人が海岸に捨てたプラスチックのゴミなどで苦しむ魚たちを心配しています。と同時にプラゴミなどの海への廃棄は「絶対にだめ」、という警告しています。

○「エコ・ファースト推進協議会」優秀賞

東近江市立蒲生西小学校5年和田芹奈さん

地球を救う ひらめきの数 星の数

小学校の高学年となると、豊かなアイデアやひらめきがどんどん生まれ、「地球を救う」ためのアイデアや提言がエコとわざを通じて、発せられています。

○「エコ・ファースト推進協議会」10周年特別賞

知立市立竜北中学校3年長谷川由奈さん

時間割り「環境」科目 作ろうよ

子どもたちは学校でも環境問題を議論し、教室で仲間たちといろいろな意見の交換しているのでしょう。本当に、これからも生徒さんたちが必要と思ったことは声を大にして、積極的に提案してください。

加盟企業賞の中に、小学校6年生でサーキュラー・エコノミーという言葉を学んだ大橋未侑さんの「サーキュラー 何度も使え みんなの資源」があります。モノは何度も有効に使おうという提言です。今年夏からの東京オリンピックを楽しみにしている小学校5年東瀬柚咲さんの「2020 ごみゼロで おもてなし」は受賞式に出席している皆さまの気持ちを代弁する作品で、会場の雰囲気

気をなごやかにしてくださいました。

日本の子供たちは悪化しつつある地球環境を心配しています。これからも「エコとわざ」コンクールに積極的に参加し、エコへの高い意識と行動力で、日本だけでなく、世界を変える推進力になってくださることを心から期待しています。

3. 応募作品の創作ことわざ力について

応募作品の大半が5・7・5の口調が多いのですが、本田さんの5・7・7、牛田さんの6・7・5、和田は7・7・5というふうに、受賞作品は文字数の組み合わせを工夫することで、主張を効果的に伝えています。よく知られていることわざ、例えば、継続は力なり、失敗は成功のもと、などを参考にしながら、自然環境を保護する、説得力のある創作ことわざを作ってください。

(文責；森洋子)

~~~~~

「エコとわざ」コンクールのリンク

<https://www.ecotowaza.jp/>

第10回の受賞作品の情報 (ファイル PDF)

[https://www.eco1st.jp/images/1\\_77\\_176\\_4\\_%E6%9C%80%E7%B5%82%E3%80%90%E3%82%A8%E3%82%B3%E3%81%A8%E3%82%8F%E3%81%96%E3%80%91%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9\\_2019.pdf](https://www.eco1st.jp/images/1_77_176_4_%E6%9C%80%E7%B5%82%E3%80%90%E3%82%A8%E3%82%B3%E3%81%A8%E3%82%8F%E3%81%96%E3%80%91%E3%83%8B%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9_2019.pdf)